

JAグループ広島 営農通信

2020年

秋号

全農提供ラジオ番組のご紹介

TODAY'S AGRI NEWS

EVERY Mon-Fri AM 6:30-6:35

<https://www.tfm.co.jp/agrinews/>

- 放送日：毎週月曜～金曜日 6:30～6:35 (広島FM)

- パーソナリティ：月～木 鈴村健一さん
金 山崎樹範さん

ZEN-NOH COUNTDOWN JAPAN

<https://www.tfm.co.jp/cdj/>

- 放送日：毎週土曜日 13:00～13:55生放送 (広島FM)

- パーソナリティ：ジョージ・ウィリアムズさん
安田レイさん

あぐりずむ ニッポン! いただきます紀行

～全国FM38局で放送中～

<https://www.tfm.co.jp/itadakimasu/>

- 放送日：毎週木曜日 6:15～6:25 (広島FM)

- パーソナリティ：川瀬良子さん

 JAグループ広島

JA全農ひろしまホームページ


<https://www.jazhr.jp>

 JA全農ひろしま



インターンで、台帳を確認する
広島県立農業技術大学の学生
(高宮実験牧場にて)

◆ 米穀情報

- ①米の需給動向
- ②JAグループ広島の「需要に応じた米の計画生産」による「契約取引の拡大」事例

◆ 園芸情報

- ①えだまめの産地化に向けた取り組み
- ②青果物の販売経過および情勢

◆ 営農支援情報

- ①第1回スマート農業研修会開催
- ②JA施肥マスター・アドバイザー
- ③(イベント告知)令和2年度JAグループ担い手アグリサミットの開催
- ④全農ひろしま型 施設園芸パッケージのご紹介

◆ 肥料・農薬情報

- ①『収量向上・安定には地力!』～水稻土づくりポイント～
- ②担い手直送規格農薬でコスト低減! ～さらなるコスト低減に向けて～

◆ 農業機械情報

- ①共同購入トラクタの取り組みについて
- ②見直そう!農業機械作業の安全対策

園芸情報

① えだまめの産地化に向けた取り組み

広島県園芸振興協会(事務局:全農ひろしま・広島県)は、8月7日、安芸高田市で新たな県域振興作物の候補となっている「枝豆」の機械化体系に適した栽培方法や、調製作業機械の導入等の検討会を実施しました。

試験を実施した安芸高田市においては、現在は白ねぎの連作障害の発生が課題となっており、輪作体系の導入を検討するなか、「枝豆」の導入及び機械化試験を実施するに至りました。

枝豆栽培を行なった10アールの試験圃場では、収穫幅600mmを直接莢^{さや}だけをもぎ取る方式で、1時間あたり5アールの作業能力を持つ機械で収穫の実演を実施(画像1)。機械による収穫後、収穫コンテナ内に混入した葉屑を一次選別機で選別し、その後、野菜洗い機による泥汚れ及び毛落し洗浄を実演しました(画像2)。

最終段階では、コンベアラインによる選別を目視により実施しましたが、一定以上の作業を機械化することができ、今後の作物導入に向けた機械化体系を確認することができました。

また、収穫した枝豆は冷凍加工し、JA直売所で販売しました。消費スタイルの変化が激しい現代において、冷凍分野での試験的な取り組みとして実施しましたが、売り場での反応は好評で、冷凍分野における野菜の可能性を確認することができました。

最後に、中山間の水田地帯で新たな園芸作物の導入をはかっていくうえで、機械化体系による枝豆の導入は収益性や需要が十分に見込まれることから、今後の普及が期待されます。課題としては、調製作業には依然として一定の労力を要することが判明したため、県域で課題解決を進めていきたいと考えています。



画像1: 枝豆の収穫実演



画像2: 野菜洗い機による洗浄の様子

② 青果物の販売経過および情勢

◆青果物 令和2年6～8月の販売経過

※金額は全て税抜

2020年(令和2年)6～8月の天候は、7月の活発な梅雨前線の影響で、東・西日本を中心に長期間にわたって大雨となり、月降水量はかなり多くなりました。これにともない、7月の日照時間はかなり少なく、月平均気温についても低く推移しました。8月に入ると一転し、静岡県浜松市では国内最高気温に並ぶ41.1℃を観測するなど、全国的に強い日差しと記録的な暑さに見舞われました。

そのような中、JA全農ひろしまの青果物の取り扱い(令和2年8月末累計)のうち、卸売市場仕向けについては、6月中旬から7月の長雨・曇天の影響もあり数量減、家庭内需要の高まり等によって単価高となり、出荷重量6,184t(前年比99%)、販売金額2,118百万円(同112%)、単価は342円/kg(同113%)で推移しています。

■全農広島県本部の販売状況(令和2年4月～8月累計)

※速報値

	数量		金額		単価	
	(t)	前年比	(千円)	前年比	(円/kg)	前年比
野菜合計	6,184	99%	2,117,639	112%	342	113%
トマト	1,763	102%	533,869	119%	302	117%
青ねぎ	772	91%	430,427	106%	557	117%
アスパラガス	226	87%	262,115	88%	1,159	101%
小松菜	586	123%	159,768	149%	272	121%
ほうれんそう	279	91%	146,374	105%	523	115%
きゅうり	439	95%	109,122	120%	248	127%
ばれいしょ	168	144%	54,615	291%	325	204%
ミニとまと	93	88%	53,491	102%	577	117%
だいこん	551	84%	51,557	107%	93	127%
キャベツ	558	119%	41,504	146%	74	123%
わけぎ	55	77%	40,713	80%	738	103%
なす	117	94%	38,920	131%	331	138%
豌豆	39	105%	34,806	109%	887	103%
青梗菜	101	123%	31,728	132%	313	107%
ジャンボピーマン	85	93%	29,856	123%	353	132%
その他葉茎菜類	72	85%	25,835	107%	361	127%
南瓜	63	63%	13,894	97%	219	153%
白ねぎ	34	680%	11,523	865%	343	138%
その他	183	94%	47,522	93%	260	100%

※全農広島県本部の主要品目別市場出荷実績

〈お問合せ先〉園芸課 / 神田: TEL.082-846-4708

◆8月単月の概況

【数量】

- 8月単月の出荷量は前年と比較し、101トン減少し、前年比94%で推移しました。だいこん、トマト、かぼちゃの数量が減少したことが主な要因です。
- 一方、キャベツ(183%)、青梗菜(130%)、小松菜(117%)は、前年の8月単月を大きく上回る出荷数量でした。※()は前年比。
- 8月は雨が少なく好天が続いたものの、6月下旬から7月にかけての長雨・曇天、および8月の猛暑による高温が8月の作柄に影響しました。

【金額・単価】

- 8月単月の単価については、主にほうれんそう、わけぎで前年を下回ったものの、全体の平均単価は364円/kgとなり、前月の286円/kgよりも上がり、前年比では121%で推移しました。
- 8月単月の販売金額は539百円(前年比114%)となりました。
- スーパーからの引き合いが強いなか、県内の出荷数量が全体的に少なく、さらに他県産の入荷も果菜類を中心に少なかったこともあり、単価高で推移しました。

◆9月の見通し

(1) 入荷量の見通し

9月の主要野菜(15品目)の入荷量は、平年を下回る水準と見込まれます。

「平年を上回る」と見込まれるのは、白ねぎの1品目です。

「平年を下回る」と見込まれるのは、にんじん、はくさい、キャベツ、ほうれんそう、青ねぎ、

レタス、きゅうり、なす、ピーマン、さといもの10品目です。

「平年並み」と見込まれるのは、だいこん、トマト、ばれいしょ、たまねぎの4品目です。

(2) 卸売価格の見通し

9月の主要野菜(15品目)の卸売価格は、平年を下回る水準と見込まれます。

「平年を上回る」と見込まれるのは、ほうれんそう、青ねぎの2品目です。

「平年を下回る」と見込まれるのは、だいこん、にんじん、はくさい、白ねぎ、レタス、ばれいしょ、さといも、

たまねぎの8品目です。

「平年並み」と見込まれるのは、キャベツ、きゅうり、なす、トマト、ピーマンの5品目です。

○品目別の入荷量・卸売価格の見通し(9月)

品目	入 荷 量			卸 売 価 格			(参考)前年9月の主産地シェア(%)
	前月比較	前年比較	平年比較	前月比較	前年比較	平年比較	
だいこん	↘	=	=	↘	=	↘	北海道(72)、広島(13)、青森(11)
にんじん	↘	=	↘	↘	↘	↘	北海道(98)
はくさい	↘	↘	↘	↘	↘	↘	長野(95)
キャベツ	=	↘	↘	↘	↗	=	群馬(73)、長野(18)
ほうれんそう	↗	↘	↘	↗	=	↗	広島(96)
青ねぎ	=	=	↘	↘	=	↗	広島(50)、北海道(25)、愛媛(5)、鳥取(5)
白ねぎ	↗	=	↗	↘	=	↘	鳥取(54)、北海道(17)、輸入(9)、長野(9)
レタス	↗	↘	↘	↘	↗	↘	長野(88)、群馬(5)、北海道(5)
きゅうり	=	=	↘	=	=	=	宮崎(25)、熊本(21)、佐賀(20)、広島(10)
なす	↘	↘	↘	=	=	=	広島(28)、佐賀(13)、島根(13)、福岡(12)
トマト(ミニトマトを除く)	↘	=	=	↗	↘	=	広島(59)、熊本(17)、島根(11)、鳥取(7)
ピーマン	↘	=	↘	↗	↘	=	大分(46)、輸入(11)、宮崎(10)、広島(10)
ばれいしょ	↗	=	=	↘	↗	↘	北海道(100)
さといも	↗	=	↘	↘	↘	↘	愛媛(62)、宮崎(32)
たまねぎ	↗	=	=	↘	=	↘	北海道(97)
計	↗	=	↘	↘	=	↘	

注:「平年」とは、過去5か年の平均値。
 ※この資料の内容は、令和2年8月25日現在で見込んだものであり、今後の気象条件の変化等により変動があり得る。
 ※主要野菜の入荷量及び卸売価格の見通しのコメント及びグラフは令和2年8月31日中四国農政局園芸特産課の発表内容による。

(参考)広島市中央卸売市場における品目別の入荷量の推移

単位: トン

品目	6月上旬		6月中旬		6月下旬		7月上旬		7月中旬		7月下旬		8月上旬		8月中旬	
	入荷量	平年比														
だいこん	201	69%	226	96%	219	74%	255	85%	239	88%	261	90%	248	92%	205	89%
にんじん	173	76%	181	74%	169	81%	118	71%	107	70%	157	92%	156	82%	125	78%
はくさい	179	95%	206	101%	177	98%	186	129%	186	121%	152	95%	124	73%	133	84%
キャベツ	460	78%	570	102%	511	94%	461	83%	503	96%	404	77%	393	79%	368	81%
ほうれんそう	34	77%	44	97%	24	60%	25	90%	21	103%	22	113%	12	82%	12	109%
青ねぎ	42	85%	46	95%	42	91%	44	104%	36	76%	48	109%	38	87%	35	86%
白ねぎ	25	105%	28	112%	20	81%	22	103%	25	98%	27	102%	24	96%	21	99%
レタス	285	122%	303	123%	201	84%	228	107%	205	98%	150	66%	133	55%	138	60%
きゅうり	259	95%	221	91%	188	89%	149	103%	118	82%	138	80%	150	81%	146	90%
なす	103	96%	107	91%	100	78%	100	78%	57	51%	66	61%	69	64%	81	81%
トマト(ミニトマトを除く)	206	249%	218	250%	122	72%	113	77%	110	96%	118	85%	132	88%	111	79%
ミニトマト	65	108%	67	127%	54	103%	38	94%	34	87%	39	101%	39	95%	40	114%
ピーマン	58	79%	77	102%	53	88%	44	79%	58	105%	46	84%	50	94%	50	121%
ばれいしょ	216	71%	219	77%	129	63%	73	53%	84	74%	100	78%	148	96%	127	87%
さといも	3	58%	4	67%	4	78%	4	88%	4	89%	4	70%	6	90%	4	52%
たまねぎ	263	88%	300	109%	269	106%	252	108%	270	96%	251	93%	360	146%	317	125%

資料:「広島市中央卸売市場日報」
 注:平年比70%以下及び130%以上の数値に色を付けています。

〈お問合せ先〉園芸課 / 神田: TEL.082-846-4708

(参考)広島市中央卸売市場における品目別の卸売価格の推移

単位：円/kg

品目	6月上旬		6月中旬		6月下旬		7月上旬		7月中旬		7月下旬		8月上旬		8月中旬	
	卸売価格	平年比														
だいこん	101	162%	105	113%	105	124%	103	133%	111	117%	116	126%	109	114%	115	91%
にんじん	133	125%	165	144%	222	210%	288	274%	344	232%	394	225%	218	149%	140	115%
はくさい	102	127%	68	73%	76	89%	85	118%	101	146%	157	177%	206	198%	242	225%
キャベツ	109	132%	113	130%	109	123%	89	122%	83	119%	137	146%	172	183%	188	167%
ほうれんそう	477	102%	468	90%	763	149%	596	96%	701	93%	840	116%	765	94%	871	78%
青ねぎ	477	111%	530	117%	527	117%	537	118%	648	118%	725	121%	863	132%	849	122%
白ねぎ	462	104%	439	101%	484	122%	551	140%	614	144%	521	145%	456	133%	436	102%
レタス	146	100%	88	62%	110	85%	128	96%	163	102%	342	183%	490	301%	275	139%
きゅうり	227	117%	218	103%	283	139%	271	112%	428	124%	417	154%	390	156%	344	111%
なす	337	97%	320	92%	345	111%	336	121%	404	133%	503	163%	469	160%	418	157%
トマト(ミニトマトを除く)	240	92%	242	85%	308	103%	364	130%	330	115%	331	120%	304	113%	344	127%
ミニトマト	351	81%	421	93%	474	93%	588	109%	731	116%	746	119%	777	132%	785	128%
ピーマン	434	145%	452	140%	454	120%	552	141%	522	132%	524	140%	547	155%	435	118%
ばれいしょ	264	159%	275	162%	361	205%	423	211%	486	248%	446	266%	315	206%	196	132%
さといも	669	141%	683	160%	534	115%	436	91%	439	96%	514	124%	534	137%	474	119%
たまねぎ	95	83%	98	92%	101	90%	115	91%	140	109%	158	126%	137	104%	110	88%

資料：「広島市中央卸売市場日報」

注：平年比70%以下及び130%以上の数値に色を付けています。

月別の天候 【令和2年8月25日】 気象庁発表「向こう3か月の見通し」

9月	<ul style="list-style-type: none"> ・北日本と東・西日本日本海側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。 ・東日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わりますが、南からの湿った空気の影響を受けやすく、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。 ・西日本太平洋側では、南からの湿った空気の影響を受けやすく、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。 ・沖縄・奄美では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・北日本日本海側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。 ・北日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 ・東・西日本と沖縄・奄美では、天気は数日の周期で変わりますが、前線や南からの湿った空気の影響を受けやすく、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 ・東・西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。 ・北・東・西日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 ・沖縄・奄美では、期間の前半は、天気は数日の周期で変わるでしょう。期間の後半は、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

〈お問合せ先〉園芸課／^{かんだ}神田：TEL.082-846-4708

営農支援情報

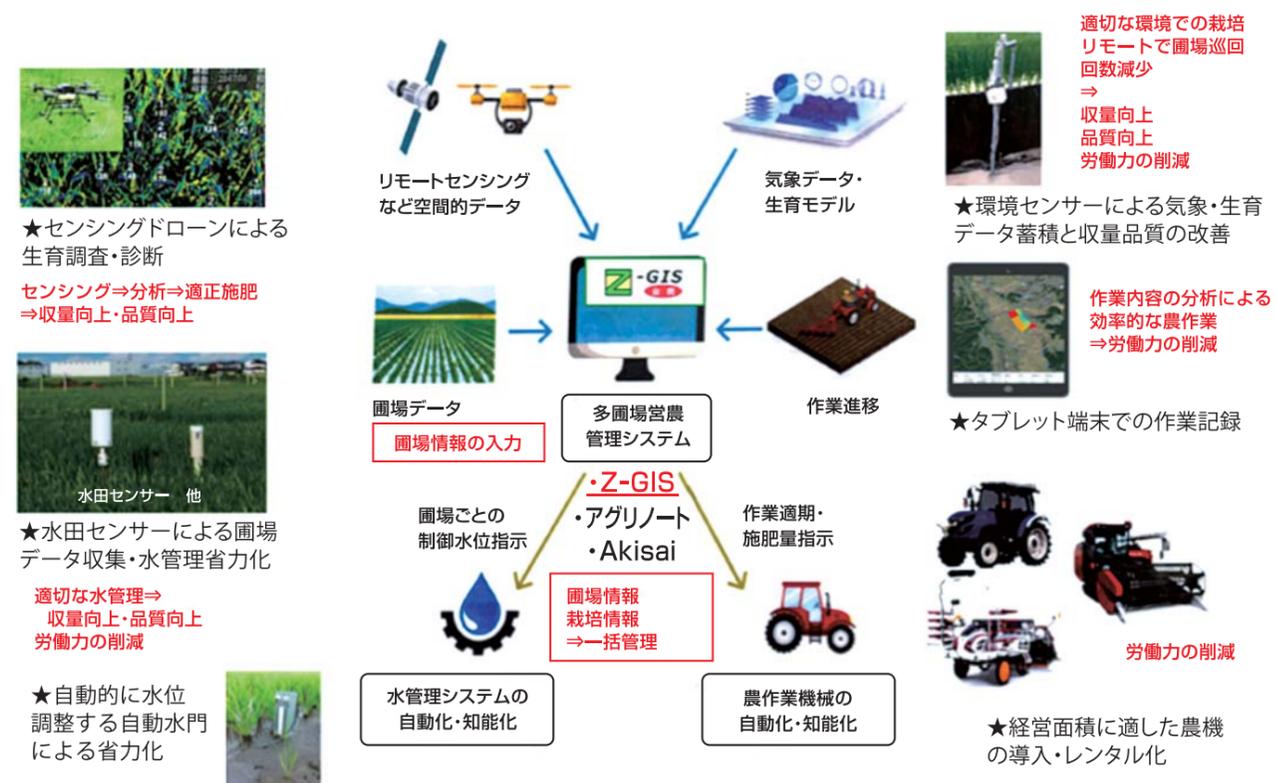
① 第1回スマート農業研修会開催

JA西日本営農技術センター(東広島市入野)で8月6日、令和2年度第1回スマート農業研修会を開き、JAや県農業技術指導所の担当者ら24人が参加しました。

農業ICTを活用した営農振興を目指し、農業ICTコーディネーターの養成を図ることを目的に開催。

最近のICT関連機器の開発動向や普及が期待される機器・技術、今年度実証中の取り組みや、スマート農業の取り組みの方向性、圃場管理ソフト、ハウス等で利用する環境モニタリング機器、生育診断を行うセンシング(ドローンや人工衛星)、鳥獣害対策の新技术などについて学びました。

全農ひろしまの農業ICT技術の目指す方向



担い手のニーズ・経営に適したICT技術を適切にコーディネートできる人材の育成

〈お問合せ先〉営農支援課／^{ひらおか}平岡：TEL.082-846-4706

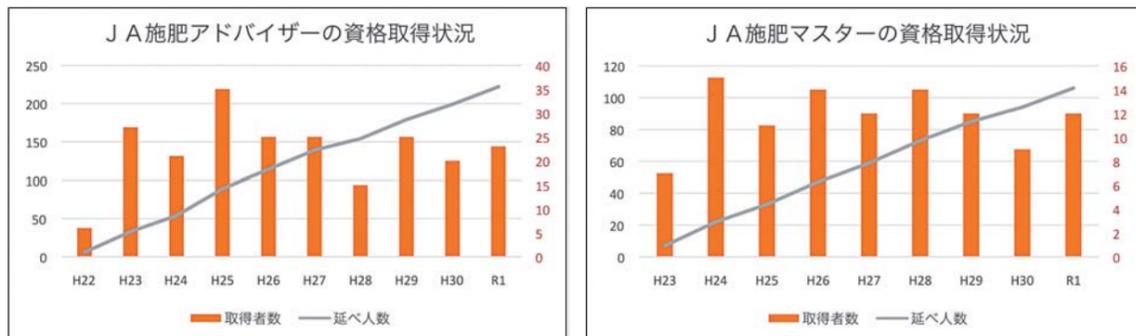
② JA施肥マスター・アドバイザー

JA全農ひろしまは、専門化・高度化する担い手経営体のニーズに対応するよう、科学的な根拠に基づいた営農指導の実践を目指しています。このため、土壌診断による施肥設計のスペシャリストの育成を図ることを目的として、2010年度から、本会独自の「JA施肥アドバイザー」、2011年度から「JA施肥マスター」という資格認証制度を設けています。

JA施肥アドバイザーは延べ4日間、土壌や肥料の基礎知識を学び、試験に合格すると取得でき、これまでに222人認証、今年度も24人(予定)が受講し資格取得を目指します。その上位資格となるJA施肥マスターは、延べ6日間で土壌の物理性や化学性の調査や施肥設計、作物の生育診断法などを座学と実習で学び、毎回、講習会の修了試験に合格すると次の講習が受講できる仕組みとなっています。これまでに106人認証しており、今年度も、8月26日から講義が開始され、9人が受講しています。

また、マスター資格取得後も、資格取得者対象の「JA施肥マスター研究会」を毎年開催し、技術と知識の向上に努めています。今年度は8月6日、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、初めての遠隔での受講も行いながら、現在取り組む活動報告のほか、水稲硫黄欠乏症等を協議しました。

〈表：認証者の推移〉



③ (イベント告知)令和2年度JAグループ担い手アグリサミットの開催

営農に役立つ様々な最新情報や先進技術を展示・提供し、日頃の疑問や課題を解決していただく機会として、下記の日程で開催します。

最新のICT技術の展示、JAグループの強みである生産から販売まで、生・販・購一貫した部門横断的な取り組みや、生産者が抱える課題解決につながるセミナーの開催、関連機器などを見て触って体験できる実演会を予定しております。

※新型コロナウイルス感染拡大を考慮し、中止または内容が変更となる可能性がありますので、ご了承ください。

〈概要(予定)〉

- (1)日 時：令和2年10月28日(水)～29日(木)、9:30～16:00
- (2)場 所：JA西日本営農技術センター(広島県東広島市河内町入野11631-13)
- (3)主 催：JA全農(中四国営農資材事業所・広島県本部)
- (4)実施内容：セミナー・実演会・展示会を中心に展開
- (5)協 賛：JA広島中央会/JA広島信連/JA共済連広島/JA広島果実連

〈令和元年度 アグリサミット実演会風景〉



◀ドローンの実演会



◀ほうれんそう収穫機の実演

④ 全農ひろしま型 施設園芸パッケージのご紹介

スマート農業の進展に伴い、施設園芸においては炭酸ガス(CO2)施用技術の注目が高まっています。全農ひろしまでは既存ハウスに導入が容易で、低価格で設置場所を選ばない、炭酸ガス施用に必要な機器のセット提案を行っています。「はかる蔵(環境モニタリング機器)」、「うご蔵(環境制御機器)」、「タンセラ(炭酸ガス施用機器)」の3点セットです。炭酸ガスの施用には、CO2濃度、飽差(特定の温度、湿度条件下で空気中に水蒸気がどれだけ入るかを示す指標)の管理が重要になります。上記の3点セットでハウス内の環境の見える化から炭酸ガス施用のコントロールまで可能です。JA西日本営農技術センターでもこの秋から運用を開始しますのでご興味のある方はぜひお問合せください。

〈はかる蔵、うご蔵、タンセラ〉

はかる蔵

LIBERTYPORT Japan

うご蔵

LIBERTYPORT Japan

うご蔵 CO2コントローラー

かんたん操作でCO2発生機の制御

- ・かんたん濃度制御
濃度を入力するだけでOK
複雑な設定は不要です
- ・タイマ制御8系統
何時～何時は○ppmで制御
これを8系統設定できます

CO2センサー部分は、はかる蔵と共用できるため、子機お買い上げのお客様は追加でCO2センサーを買っていただく必要はありません。

オプションで下記機能を追加できます

- ・無電圧出力1ch追加 (標準1ch)
同時に2台の発生機を制御
- ・有電圧出力1ch追加 (標準なし)
外部リレーを用いて大きな負荷を制御
- ・無電圧入力1ch追加 (標準なし)
換気装置と連動した省エネ制御

製品画像は開発状況により変更になることがあります

連棟ハウスにタンセラ

TC-100S

660mm

440mm

850mm

23.3kg

ハウスの作物に光合成を。

光合成で不足した炭酸ガスをハウス内に補給する作物にやさしい、光合成促進機「タンセラ」

クリーンな燃焼しかも長く使えるLPガス式

- ・炭酸ガス発生量 2.5kg/h
- ・高速回転ファンで遠方送風
- ・ダブルタイマー内臓 (24時間タイマー×2個)
- ・ファン単独の自動運転も可能

〈お問合せ先〉 営農支援課 / 平岡：TEL.082-846-4706

肥料・農薬情報

① 『収量向上・安定には地力!』 ~水稲づくりポイント~

稲刈後は、土壌から多くの養分が奪われ、生産の基礎となる地力が消耗した状態となっています。来年度にむけて、減耗分を必ず補いましょう。

(1) 有機物…水稲が吸収する窒素の60~70%は、有機物に由来する「地力窒素」から供給される

① 家畜ふん堆肥の施用目安(トン/10a)

	牛ふん	豚ふん
水はけの悪い水田	1.0	0.5
水はけの良い水田	2.0	1.0

堆肥の投入は、地力窒素、りん酸、加里の重要な補給源です。

② 稲わらの活用(分解とすきこみ)

堆肥施用と併せて、地力の維持・増進を図るため、「稲わら」は重要な資源(腐植・ケイ酸などの補給)です。しかし、有効に活用するためには、しっかりと分解させることが重要です。稲わらは表面が固く、そのまますき込んだだけでは、なかなか分解しません。最近では、分解を促進する資材も登場していますので、紹介します。

【商品名:アグリ革命(細粒)・アグリ革命アクア(液体)】

10aに2kg(1袋)、
動力散布機でも撒けます

10a当たりの施用料は他社従来品の1/20~1/10。しかも動力散布機で撒ける細粒仕様。今まで重くて撒けなかった方もこれなら大丈夫。

アグリ革命(細粒)

10aに100ml(1本)、
水で希釈し散布します

散布方法に応じ水で希釈し(10~500ℓ)、均一に散布します。大型500ml規格あり!

アグリ革命アクア(液体)

【使用上のポイント】

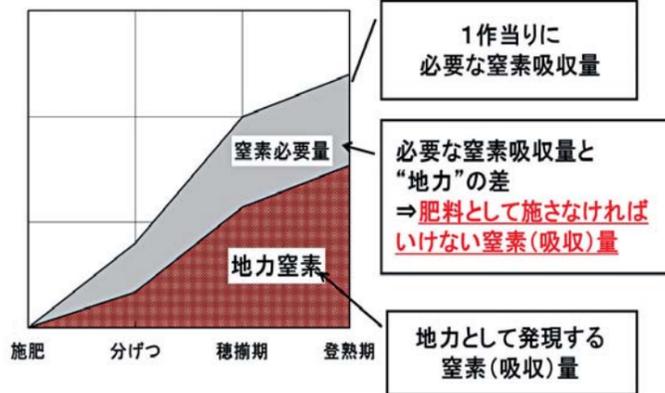
- 稲刈後、できるだけ早く処理を行う。(地温15℃以上で活発に微生物が活動し分解促進するため)
- 稲わらが濡れているときに処理する。
- 処理後のすき込み耕深は、深くしない。(酸素供給を考慮し、5~10cmとする)
- **細粒・アクアともに無人航空機(ドローン)による処理が可能です!!**

(2) ケイ酸・鉄などの無機養分…水稲栽培に必要な不可欠な重要成分。

水田から失われたケイ酸・鉄の補給のために「ケイカル」や「ミネラルG」、「ミネテツエース」などがあります。

毎年、200kg/10aを基本に継続的に施用していくことで効果が続きます。

大規模経営体向けのお得な200kgのフレコン規格もあります。土壌診断を活用すると、圃場の状態に適応した施肥量を把握できます。



② 担い手直送規格農薬でコスト低減! ~さらなるコスト低減に向けて~

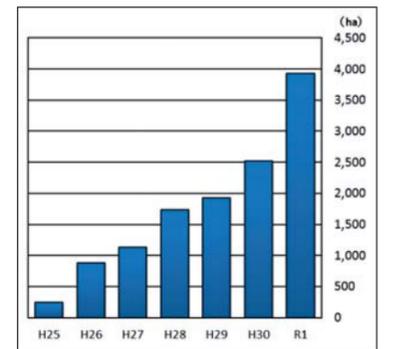
JAグループでは、生産資材のコスト低減に向けて取り組んでいます。「担い手直送規格農薬」を活用した生産資材コスト低減について紹介します。

令和3年産に向けて、ご検討をお願いします。

● 担い手直送規格農薬とは

3~5ha分規格で、使用者から期日までに受注したものを一括生産し、工場から直送します。通常の10a分の規格に比べ、▲15%~▲30%程度のコスト削減が図れます。

平成25年度から全国で取り組みを開始し、年々品目の種類も増えて普及拡大しています。(広島県内の普及面積推移は右図のとおり。令和元年度約4,000ha)



【広島県における普及面積(ha)の推移】

● 主な担い手直送規格(水稲関係)

区分	主な農薬名		製品イメージ	
箱処理剤	・防人箱粒剤	40kg(20kg×2袋)	800箱分	
	・フルスロトル箱粒剤	40kg(20kg×2袋)	800箱分	
一発除草剤	・ジェイフレンド1キロ粒剤	40kg(20kg×2袋)	4ha	
	・ジェイフレンドジャンボ	16kg(4kg×4箱)	4ha	
	・カチボン1キロ粒剤51	40kg(20kg×2袋)	4ha	
	・コメット1キロ粒剤	40kg(20kg×2袋)	4ha	
	・コメット顆粒	4kg	5ha	

● 担い手直送規格農薬を活用したコスト削減(例)について

- ・経営面積12ha
- ・水稲用一発除草剤(1キロ粒剤、これまで大型規格(10kg)で対応)

	大型規格 (10kg)	★担い手直送規格 (40kg:20kg×2袋)
参考価格(税込)	30,000円	108,000円
12ha必要量	12袋	3袋(20kg袋×6)
購入金額(税込)	360,000円	324,000円
購入差額		▲36,000円
10aあたり削減効果		▲300円/10a

※あくまで、試算例です。正確な価格やコスト削減効果については、お近くのJAでご確認ください。

● 担い手直送規格農薬の注意点について

- ・完全受注生産のため、発注時期(締切)が決められています。
- ・除草剤は1キロ粒剤のほか、ジャンボ剤、フロアブル剤も担い手直送規格があります。
- ・除草剤以外では、箱処理剤(育苗箱処理薬剤)も担い手直送規格があります。
- ・40kg規格製品については、20kg袋2袋が1セットとなりますので注文の際にはお間違いのないようご注意ください。
- ・予約(受注)締切の時期や品目のお問い合わせについては、お近くのJAへご相談ください。

〈お問合せ先〉 肥料農薬課 / 豊田: TEL.082-846-4705

農業機械情報

① 共同購入トラクタの取り組みについて

(1) 第2弾共同購入トラクタ発売スケジュール確定のお知らせ

新型コロナウイルスの影響により発売スケジュールを延期していました第2弾共同購入トラクタ(中型)の再スケジュールが決定しました。

製品・価格の案内時期、出荷開始時期が、当初予定していたスケジュールから3か月延期となります。(下記ポスター参照)

詳細につきましては、最寄りのJA農機センターまでお問い合わせください。

※新型コロナウイルス感染拡大など、情勢が変化した場合はスケジュール変更する場合があります。ご了承ください。

JAグループから大切なお知らせ

生産者&JA 全国1万人以上の声を反映して 機能を厳選
共同購入トラクター
次は **中型** 28~35馬力クラス

再スケジュール決定!!

この度の新型コロナウイルスの影響で、当初スケジュールを当面延期しましたが、再スケジュールが決定しました。

※第2弾の拡大など、情勢が変化した場合は再検討します。

今後のスケジュール

令和2年10月~
製品と価格のご案内

令和3年1月~
出荷開始

※ご注文いただいたから納品まで、3~4ヶ月程度を要します。

JAグループ / 全農

(2) 第1弾共同購入トラクタの生産終了について

JAグループで取り組んでいる共同購入トラクタについて、第1弾(YT357(ヤンマー製・60馬力))の受付は令和2年11月末をもって終了となります。

ご検討されている方はお早めに最寄りのJA農機センターまでお問い合わせください。

おかげさまで、JAグループの受注台数1,800台突破! 全国から共同購入への結集、ありがとうございます!

生産者&JA 全国1万人以上の声を反映して 機能を厳選
共同購入トラクター
第1弾 **YT357JZ** 令和2年11月末まで注文受付中! お早めに!

共同購入トラクター 3.3 60 534
型式 YT357J ZUQH

共同購入トラクター 半クローラタイプ 599
型式 YT357J ZDUQH

第2弾 発表間近!
共同購入トラクター 中型 28~35PS

令和2年10月以降 製品と価格のご案内

令和3年1月以降 出荷開始

ご注文いただいたから納品まで、3~4ヶ月程度を要します。

JAグループ / 全農

② 見直そう! 農業機械作業の安全対策

2020年秋の農作業安全確認運動が、9月1日~10月31日(2ヶ月間)で実施されます。

近年、農業就業人口当たりの農作業事故死亡者数は増加傾向にあり、そのうち機械の転落・転倒(ほ場内、道路)による事故が多くを占めているとの報告がありました。
※参考「今後の農作業安全対策について」(農林水産省)

農作業死亡事故に占める機械の転落・転倒事故の割合が高くなっている中で、その対策として、トラクタへの安全フレームとシートベルトの装着が必要です。安全フレームやシートベルトの装着されていないトラクタを所有されている方は、追加装備や買い替えのご検討をお願いします。

◆農作業による死亡事故は年間約300件発生しています。

見直そう!
農業機械作業の安全対策

安全対策

安全フレーム
ヘルメット
点検
灯火器
シートベルト

日常的にチェックする習慣をつけましょう。

2020年秋の農作業安全月間

JAグループ

〈お問合せ先〉農業機械課 / くにひろ 国弘: TEL.0824-62-3103